

## 2 公的年金が果たす役割

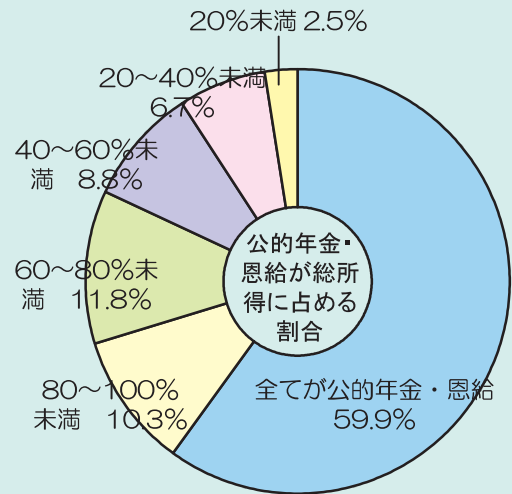
長寿化による国民の老後期間の伸長のほか、

- ・産業構造の変化（工業化等）
- ・都市化
- ・家族（世帯）の在り方の変化
- ・国民意識の変化

などに伴い、子どもからの仕送りなどの私的扶養のみによって老後生活を送ることが困難になっています。

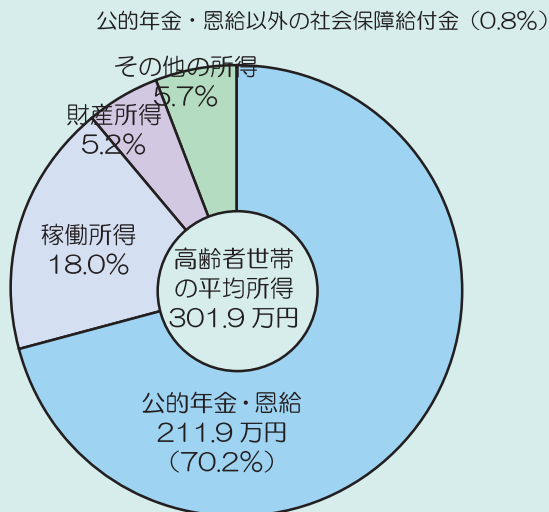
こうした中で、公的年金は、高齢者世帯の所得の約7割を占め、国民の4人に1人が年金を受給するなど、今や老後生活の柱として定着し、国民生活に不可欠な役割を果たしています。

〈図表1-6〉6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活



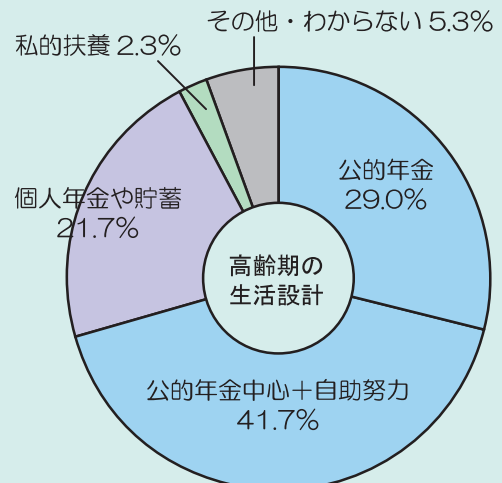
平成18年国民生活基礎調査

〈図表1-5〉年金は高齢者世帯の収入の7割



平成18年国民生活基礎調査

〈図表1-7〉高齢期の生活設計で年金を頼りにする人は7割



年金制度に関する世論調査（平成15年内閣府）

〈図表1-8〉国民の4人に1人が年金を受給

